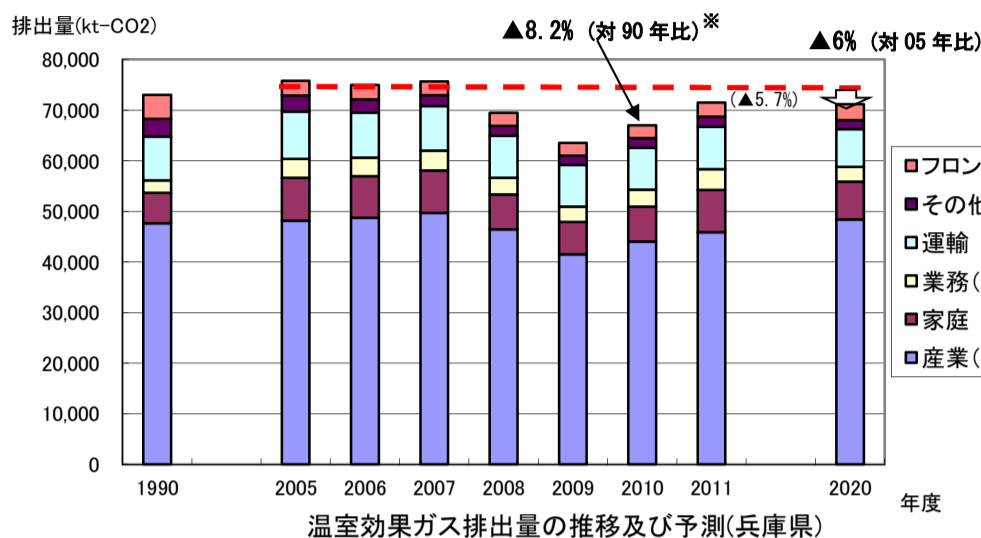


地球温暖化防止に向けた兵庫県の取組

兵庫県では、2014年3月、低炭素社会の実現を目的として、「第3次兵庫県地球温暖化防止推進計画」を策定し、6つの対策方針に基づき、再生可能エネルギーの導入拡大や部門別等の取組を定め、県民・事業者・団体及び国・市町の協力のもと取組を推進

○ 本県の温室効果ガス総排出量



※ 第2次計画では、2010年の目標(▲6.3%)を上回る▲8.2%を達成

【兵庫県の特徴】

- ・産業部門の排出割合が全体の約2/3を占める。(全国平均は約1/3)
- ・家庭・業務部門の伸び率が大きい。

○ 2020年度温室効果ガス削減目標の設定

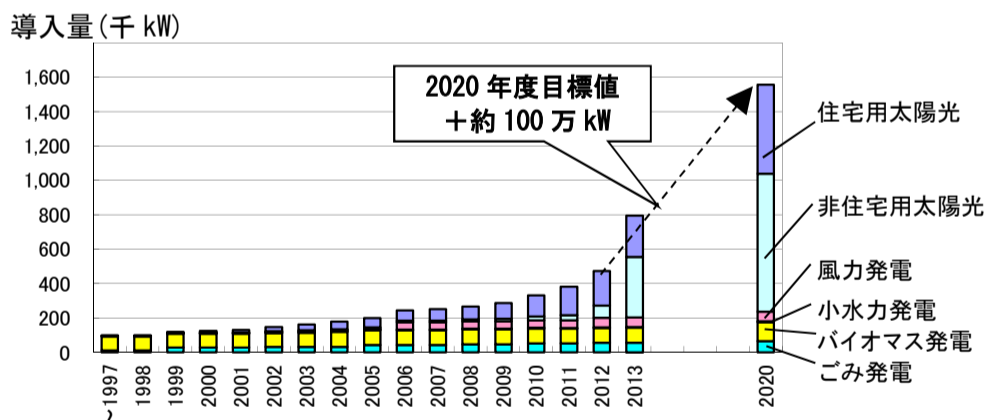
2020年度に温室効果ガス排出量を2005年度比で6%削減(1990年度比3%削減)

○ 重点的な取組

再生可能エネルギーの導入目標の設定

2020年度末までに県内の再生可能エネルギーを新たに100万kW導入

～ひょうご100万キロワット創出プラン～



○ 6つの対策方針

- 1 再生可能エネルギーの導入拡大
- 2 日常生活や経済活動からの温室効果ガス排出削減
- 3 低炭素型まちづくりの推進
- 4 CO₂吸収源としての森林の機能強化
- 5 次世代の担い手づくり
- 6 地球温暖化による影響への適応

○ 取組の紹介

- ・住宅用太陽光発電設備・太陽熱利用設備等導入への低利融資
- ・再生可能エネルギー相談支援センターの運営
- ・地域資源(県庁舎、ため池、ダム等)を活用した太陽光発電の率先導入 等



ため池を活用した太陽光発電



ダム堤体を活用した太陽光発電

○ 部門別の主な取組

産業(工場等)・業務(オフィス等)

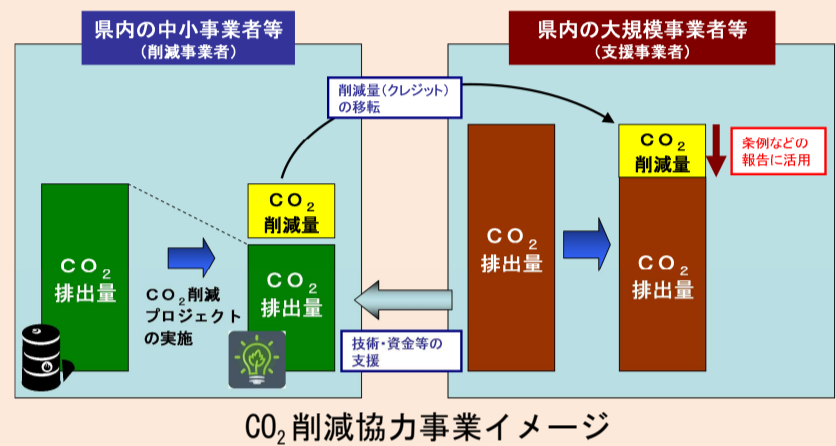
- ・「環境の保全と創造に関する条例」に基づく事業者のCO₂抑制計画・報告制度
(大規模事業者は報告義務あり)【事業者単位で公表】
- ・省エネルギー設備導入の推進
(中小規模事業者の設備投資に対する低利融資 等)

【事例1：ガスタービンコージェネレーションシステム】
ガスタービンで発電するとともに、排出する熱を蒸気吸収式冷凍機で利用するシステムを導入し、冷房を高効率化



川崎重工業株式会社ホームページより
提供：理化学研究所

【事例2：CO₂削減協力事業】
中小規模事業者の省エネと大規模事業者の技術シーズや資金をマッチングさせるため、国内CO₂削減クレジット制度を活用し、追加的に削減した排出量を大規模事業者に移転

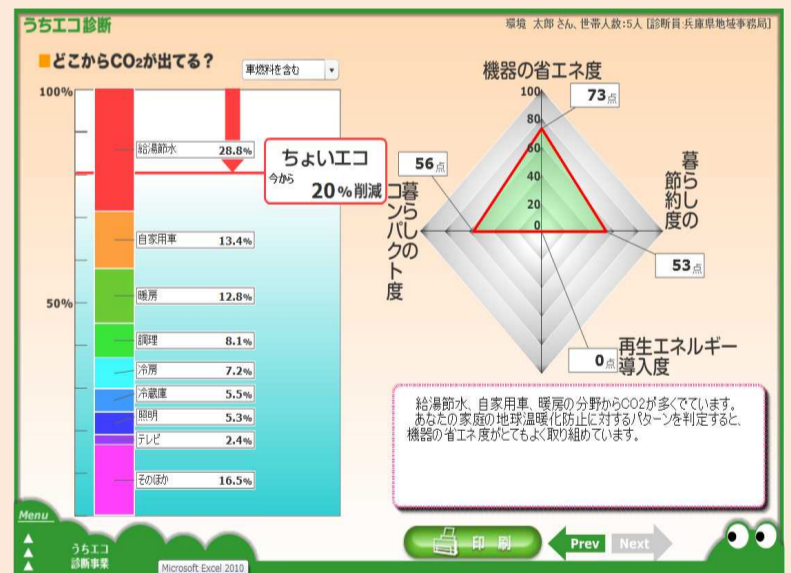


家庭

- ・CO₂排出の少ないライフスタイルへの転換
- ・住宅の省エネ性の向上 (高効率ガス給湯器、遮熱高断熱複層ガラス等)

【事例：うちエコ診断の推進】
専門の診断士が、家庭の電気・ガスの使用状況などをもとに、パソコンを用いて対面で診断し、家庭の“どこから”“どれだけ”CO₂が排出されているのかをわかりやすく示し、家庭のライフスタイルに合わせた削減プランを提案

- STEP1 CO₂排出の平均比較とランキング
- STEP2 必要な削減量の理解と目標の明確化
- STEP3 CO₂排出分析
- STEP4 効果的な対策の提案



運輸

- ・eco-drive (燃費向上運転) の推進
- ・次世代自動車 (HV、EV、FCV 等) の普及

【事例：EV用充電器の整備】
2013年6月、「兵庫県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」を策定し、EV用充電器の整備を進め、県自らも県庁舎等に急速充電器を設置



県庁1号館北側 急速充電器